令和６年度　第２回　水窪小・中学校運営合同協議会　会議録（要点記録）

１　開催日時　　令和６年７月１日（月）１３時４０分から１５時１０分まで
　　ただし、１４時００分までは授業参観
２　開催場所　　水窪小学校　会議室
３　出席委員　　柳田　温、塩崎　正敏、金田　和代、高木　園乃、西岡　小百合、高木　学
　　平澤　文江
４　欠席委員　　山本　功、田中　裕彦、牧内　真美、石本　駿輔、三石　卓
５　学　　校　　浮田　佳昭（水窪小校長）、加藤　雅嗣（水窪中校長）、鈴木　成幸（水窪小教頭）
　　梅田　研（水窪中教頭）、内山　由紀（CS ディレクター）
６　教育委員会　井島　健蔵（教育総務課）
７　傍聴者　　なし
８　会議録作成者　ＣＳディレクター　内山　由紀
９　議長の選出
　司会から、柳田委員を推挙する旨の発言があり、全員異義なくこれを承認した。
10　協議事項
　（１）授業を通しての感想
　（２）今後の地域教育活動の提案
11　会議記録
　司会の平澤委員から、委員総数１２人のうち７人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
（１）前回会議録の確認について
　水窪小教頭より、別紙資料の前回会議録の内容について説明があり、確認した。
（２）み・さ・く・ぼの活動について報告・紹介
　水窪小学校教頭･水窪中学校教頭から、別紙資料に基づき、み・さ・く・ぼに照らし合わせた活動の報告と紹介があり、委員からは以下の発言があった。
・小学校の方だが、目標シートが良い。自分の目標に対してどこまで進捗しているかをグラフ化し、見える化することはすごく良いと思う。1 年後に自分がどこまで到達したかという最終的な結果は、家庭から見た評価としてやっているか。（柳田委員）
→目標を立ててそこに進んでいく自己評価が主になる。教職員の中では、研修会の中で、そのシートを先生方に読んでもらった。先生方からは、子供たちができていることを付箋に書いて貼ってもらい、褒めてもらった。教師からは言葉掛けができているが、いろいろな方からいただけるといいと思った。（水小教頭）
・家庭からもほめて、成長させる方法もある。最初の取組で大変かと思うが、素晴らしいなと思った。（柳田委員）

（３）協議
　①授業参観を通しての感想

・1 年、５・６年の道徳を参観した。1 年は、ありがとうの気持ちを示す、5・6 年は権利やプライバシーについて、個人個人が意見を言って、先生が問いかけながらやっていた。私たちがこれくらいの時にプライバシーのことを考えたのかと思う。水窪は、小学校・中学校の中で、「み・さ・く・ぼ」で教育されていて、一人一人子供に対しての教育が浸透している。自分の意見はもちろんのこと、人に対する気持ちも上手にはっきりと言えていた。とてもいい授業参観をさせてもらった。（圀乃委員）

・1 年、5・6 年の道徳を参観した。道徳は、自分自身も興味がある。自分たちの時代は月曜日の１時間目に道徳の時間があり、先生方からいろいろ御指導いただいた。子供たちが本当にしっかり考えているし、そんなときに思い出したのが、渋沢栄一が言っていた「仁義道徳」である。その辺に合わせて学校の流れもいっているというところに非常に感心したし、ありがたいと思った。（塩崎委員）

・1 年から 6 年まで参観した。道徳はいいなと思った。5・6 年の授業を見ると、弁護士かと思う子もいて、すごいなと思った。写真で黒塗りされた人を映す映さないという授業だったが、私たちの時代の子供は、悪いことをしたら全部出すという感じだった。今の子は、「悪いことをした人にもプライバシーがある」などの発言をしていてすごいなと思った。きちんと勉強している。人権について話し合うことは難しいと感じた。（金田委員）

・3・4 年の英語の授業を見た。4 年生は意欲的にやっていて、3 年生は個性豊かだった。先生は冷静に一人ずつ対応していた。私たちのときは、小学校からあのような授業がなかったので、今の子はすごいなと思いながら見た。（西岡委員）

・1 年の道徳はマンツーマンで、先生が丁寧に進め説明されているなと思った。3・4 年の英語は、What day is it？ 今日は何曜日ですかという感じで、先生の発音も素晴らしかった。子供たちも、ちんぷんかんぷんではない様子で聞いていたので、小学校の英語もいいのではないかと思って見ていた。（学委員）

②今後の地域教育活動の提案

小学校教頭より、小学校・中学校の現状を見据えて、新たに協力できることや、こういった活動が提供できるなどの提案やアイデアを教えていただきたいという話があり、委員からは以下の発言があった。

・元気はつらつの方たちと子供たちが一緒に会話する、お手伝いするというのを以前やっていたことがある。一人でも二人でも一緒に活動し、高齢者の方たちは喜ばれていたのを思い出した。それが復活できたらどうか。（圀乃委員）

・もう少し人数がいた頃は、学年を決めて毎年やっていた活動だった思う。学校の下の子供教室をやっている場所で、毎週木曜日・金曜日に高齢者の方が集まって健康寿命延伸活動という形で 1 日過ごしている。そこに子供たちが行って、一緒に昔遊びをしたり、ご飯を食べたりいろんな活動をする。けっこう前から定例ではやっていた。ただ、子供の人数が少なくなってその活動が整理されたかと思う。（平澤委員）

・はつらつ教室の中で、ロコモ体操とは違うか。（柳田委員）

→集落ごとにあるいきいき教室とは別枠で、浜松市社協の方で設置してくれている公的な感じの集まりである。行く人側からすると 10 時から 4 時までお弁当付きで、週に 1 日。運営側は木

曜・金曜の二日間。（平澤委員）

・子供さんとお話したり、おりがみを折ったり、すごく喜ばれる。（圀乃委員）

・リーダーはみえるのか（柳田委員）

→社協で運営していて、スタッフが 2，3 人毎回入っている。（平澤委員）

・年配の方で、水窪地域で頑張ってきてこういう実績を残した、こういうキャリアがあるよというお話を子供たちにしてあげたらいい。水窪の良さを実感させられるようなお話があればいいと思う。経験値の話で、苦労してやったら、こんなふうになったというお話を聞く機会はどうか。（柳田委員）

・戦争体験の話ができる方がだいぶ減ってきている。わずかにはなったが、まだ水窪にいらっしゃる。この辺だと浜松方面や豊橋方面の軍需工場のようなところにお勤めされていた女性の方がけっこう多い。激戦地になったわけではないので、私たちの時代に聞いたような悲惨なお話ができる方はもういらっしゃらないが、まだ、話せる方がいらっしゃると思う。（平澤委員）

・10 年ほど前、小学校でコンサートをやってくれたことがある。浜松文化振興財団の方との話で、文化の出前のようなことを子供たちに対してやりたいとおっしゃっていたので、音楽活動でやりたい要望があれば相談の窓口になってくれるのではないか。アクトホール、壬生ホールなどの委託を受けて管理運営しているところで、コンサートや楽器が得意分野になると思う。（平澤委員）

・中学校 1 年生の福祉授業で認知症を学ぶことを秋口にやりたいということについて。全校にするか 1 年生だけに絞るか。（柳田委員）

→検討中である。（水中教頭）

・そういう形で地元の人と接することを取り入れていけばいい。認知症はこれから増えていく。（柳田委員）

〈全体を通しての質問意見〉

・小学校の方で、東小との交流はどのようなことをしたのか。（金田委員）

→東小に行き、全体の中で各学校の紹介をした。6 年生は、7 人しかいないが 5、60 人の前で校歌を歌った。その後グループにわかれ、探検やドッチボールをしたり、給食を一緒に食べたりした。1 年生については、音楽の授業や国語の授業に入らせてもらい、一員として授業を受けた。大人数の中の授業を体験してきた。（水小教頭）

その他連絡事項

・教育委員会総務課より、ＣＳマイスターの方の話の紹介やＣＳ委員の任期等について話があった。

・水窪小教頭より、主任児童委員の高木幸代さんに委員として加わっていただききたいという推薦があった。学校長とも相談して推薦していきたいと考えている。承認がいただければ、次回から参加する形になる。次回は、10 月 17 日 14 時から、水窪中学校ランチルームで開催する旨の報告があった。